

## IODP 国内科学計画委員会 第7回科学計測専門部会 議事録(案)

日時：2005年2月22日(火)：13時30分～18時10分

場所：海洋研究開発機構 東京事務所セミナー室

出席：

専門部会委員

村山雅史(高知大)・池原実(高知大)・石橋純一郎(九大)・金松敏也(JAMSTEC)・  
坂本竜彦(JAMSTEC)・佐藤暢(専修大)・鈴木紀毅(東北大)

オブザーバー

・SciMPリエゾン 岡田誠(茨城大)・笠原順三(東濃センター)・阿波根直一(北大)  
・難波謙二(東大)

・岩井雅夫(高知大)、布浦拓郎(JAMSTEC)、成瀬元(京大)、林為人(JAMSTEC)

・孔内計測WG 中村恭之(高知大)

・事務局 山川稔(高知大)

欠席：

花田・日野・廣野・松林・山本(以上、専門部会委員)

\*\*\*\*\*

議事次第

前回議事録確認

【報告事項】

1. IODPに関連する国内外の動向

(1) SAS(伊藤)

(2) CDEX(倉本・黒木)

(3) 高知大コアセンター(村山)

(4) J-DESC(伊藤)

2. WG報告

(1) 情報システムWG報告(坂本)

(2) 非破壊WG立ち上げ状況(村山)

(3) 坑内計測WG報告(中村)

3. SciMP(Hawaii)報告(岡田, SciMP委員ほか)

#### 4．アクションアイテムの進捗状況（各担当者）

##### 【検討事項】

- 1．来年度の活動体制（村山）
- 2．SciMP 対応（岡田）
  - (1) SciMP Action Item への対応
- 3．その他

\*\*\*\*\*

#### 議事録

#### 0．前回議事録の確認

第 6 回科学計測専門部会（H16.12.21）の議事録を確認した．

##### 【報告事項】

#### 1．IODP に関連する国内外の動向

- (1) SAS 報告なし
- (2) CDEX 報告なし
- (3) 高知大コアセンター（村山）
  - ・ 全国共同利用による 26 件の課題が進行中．
  - ・ 来年度前期の共同利用を募集中で，3月に行われる全国共同利用委員会（高知大 3 名，JAMSTEC 3 名，J-DESC 3 名）にて採否の検討が行われる予定である．
  - ・ 共同利用課題は年 2 回の体制で募集を行う．
  - ・ 現在，研究員 1 名，研究支援員 3 名を募集中．
  - ・ その他，コアセンターの職員構成が説明された．
- (4) J-DESC（村山）
  - ・ 徳山氏が今年度末に IODP 部会長を退任する．後任には鈴木德行氏（北大）が就任予定．そのため，執行部が北大に移動することとなる．

#### 2．WG 報告

### ( 1 ) 情報システムWG 報告 ( 成瀬 )

- ・ 2月21日に行われたWGでとりまとめられた3つの提言内容について説明された。(WG議事録参照)その後、以下のような質疑応答、内容確認がなされた。
- ・ J-CORES は3月に行われるコア解析スクールでの試用は可能か？(村山)
  - 現時点では試用はできない状況であるが、デモはしてもらう予定。
- ・ プロトタイプはいつできるか？(村山)
  - 2005年3月にセミファイナル版が納品される予定。
- ・ 次回のWG開催時期は？(村山)
  - 2005年春(IMIからISCヴィジョンが提示された後)を予定。

### ( 2 ) 非破壊計測WG 立ち上げ状況 ( 村山 )

- ・ WGマンドートの説明が行われた。
  - 各種非破壊計測のスタンダード化
  - 国内に置ける計測の統一化
  - 測定技術・サイエンスの促進
  - 各機器のマニュアル化を行う。
- ・ WG構成メンバー(案)の説明が行われた。参加未確認のメンバー予定者には早急に対応する予定。
- ・ WG設置提案書に関して説明がなされた。早急にJ-DESC執行部へ提出し、来年度4月から実質的な活動に入る予定である。
- ・ その後、以下の質疑応答があった。
- ・ J-CORESリエゾンとしてメンバーが入っているが、その意図は？(岩井)
  - 計測されたデータをデータベース化するときの情報交換をするためにリエゾンとして入ってもらっている。(村山)

### ( 3 ) 孔内計測WG 報告 ( 中村 )

- ・ 共同WG長を篠原氏から荒木氏に交代することを提案している。
- ・ オブザーバーとして参加していた2名を委員として新たに加える。
- ・ Logging contractors meeting を日本で開催するために、WGとして準備していくこととした。
- ・ 日本版ロギングコンソーシアムの構想があるが、議論が継続中である。

- ・ 孔内計測に関する検討会 (@ヒューストン) の報告が行われた。技術者と科学者とのギャップを埋めていく努力を継続的に行っていく必要がある状況である。
- ・ Logging contractors meeting の開催場所・時期は？ (村山)
  - いずれも未定である (中村)
- ・ 現状でのロギングサイエンティストの派遣乗船はどうしているのか？ (村山)
  - 東大海洋研の所属者である必要があるので、海洋研の大学院生が乗船している。J-DESC からの推薦は現状では出来ない。(中村)
- ・ 大学の教員が兼業できないわけではないので海洋研以外の所属でも乗船することは可能ではないか (岡田)
- ・ 連携大学院という形式で大学院生が乗船できる可能性もあるのでは (鈴木)

### 3. SciMP (ハワイ) の報告 (岡田)

- ・ SciMP が 2 月 8 日 ~ 10 日にハワイ・コナで行われた。また、ICDP 陸上掘削の現場を見学した。
- ・ 計 16 名のパネル委員，ゲスト 8 名で会議が行われた。
- ・ コンセンサス 7，リコメンデーション 13，アクションアイテム 11 (資料参照)
- ・ アクションアイテムで早急な対応が必要な項目は 3 つ (期限：3 月 7 日) その他の期限は 6/19。
  - MBARI
  - サードパーティツール
  - 科学計測チェックシート
- ・ 各アクションアイテムに関する簡単な説明が行われた。
- ・ 古生物関連アイテムについて補足説明 (鈴木)
  - 以前提案した IMRC 構想が SPC で否決されたので、それに対してどのように対応していくか新たなレポートを作成することとなった。
  - 主な論点は MRC を継続すること，Paleontology WG を継続すること。
  - IMRC の予算規模が不明瞭，費用対効果が不鮮明だったので、それらを明確にさせていく必要がある。(岡田)

- 非破壊計測や化学分析の標準試料に相当する微化石標準試料やデータベースが IODP でも必要であることを強調すべき。また，IMRC における標準試料は微古生物関連の QA/QC に相当することを指摘すべき（岩井）
- ・ 微生物関連アクションアイテム補足説明（難波）
  - 船上での微生物数のルーチン計測について，個人，あるいは，プラットフォーム間で再現性のある方法を検討・提案する必要がある。期限までに，文献調査を基にレポートをまとめる予定。
  - これも QA/QC に相当する（岡田）。
- ・ MBARI 関連アクションアイテムの補足説明（笠原）
  - IODP としてのポリシーをどうするかとりまとめる。
  - データの規格，ハンドリング，公開法などについてとりまとめる。
- ・ 化学関連アクションアイテムの補足説明（山本氏代理：鈴木）
  - 国内への重要な報告事項は特にない。
- ・ その他，以下のコメント・議論があった。
- ・ 「ちきゅう」のラボ・機器の配置の一部が合理的ではないとのコメント，および，搭載機器がどのように決められたのかという質問が，国外パネル委員から非公式にあった。（鈴木）
- ・ ラボ配置などは専門部会で正式に検討したことはない。
- ・ ちきゅう搭載機器に関するスペックは前部会（中嶋部会）で検討したが，実際の機器は入札によるものである。
- ・ 完成後にラボの改善などが出来る体制となっているかどうか重要で，その点を CDEX に確認すべき。
- ・ 慣熟航海時にラボ内の動線などをチェックする必要がある。
- ・ SciMP としてのパネルは前回ハワイが最後となり，次回からは STP (Scientific Technology Panel) として活動を継続する。STP マンデートから出版分野，計測ポリシーが省かれた。その他のマンデートは継続される。
- ・ その他のパネル組織の改変についても説明があった（岡田）。
- ・ 次回 STP は，7月11～15日にプレーメンで行う。
- ・ 次次回 STP は，2月に高知で行う予定である。

#### 4. 各アクションアイテムの進捗状況

- ・ アクションアイテム 06-01：済み
  - CDEX に提出済み
- ・ アクションアイテム 06-02：未
  - 鈴木・岩井で乗船者へのアンケート項目をリストアップしている。
  - 今後、科学計測に関する部分のアンケート項目のたたき台を作成し、計測部会メーリングリストで閲覧し、AESTO に提言する。
- ・ アクションアイテム 06-03：未
  - 項目をリストアップし、J-DESC に提言する。
- ・ アクションアイテム 06-04：済み
  - 前回 SciMP で提案済み。
  - 記載の QC に関してはまだ。
  - 乗船研究者のトレーニングという視点は今までの SciMP にはないので、提案はしていない。これは国内対応。
  - 記載の用語統一は、SciMP 議題。
- ・ アクションアイテム 06-05：済み
  - 近日中に J-DESC に提案する。
- ・ アクションアイテム 06-06：済み
  - Paleontology Report は次回も提出する。
  - Chemistry Report は受理間近？。
- ・ アクションアイテム 06-07：済み
  - 前回 SciMP で提案し、アクションアイテムに加えた。
- ・ アクションアイテム 06-08：未
  - 手つかず

#### 以下、継続アクションアイテム

- ・ アクションアイテム 05-06：
  - 再度検討することとなっている。??
- ・ アクションアイテム 05-07：未
  - 後ほど議論することとする。
- ・ アクションアイテム 05-08：未

- 前回 SciMP では審議されず，継続中．
- ・ アクションアイテム 05-09：継続
  - 継続検討中．
- ・ アクションアイテム 05-10：継続
  - 多くの SciMP アクションアイテムが継続中
- ・ アクションアイテム 05-11：継続
  - SciMP アクションアイテムとして継続中
- ・ アクションアイテム 05-12：継続
  - SciMP アクションアイテムとなった．

## 【検討事項】

### 1．来年度の活動体制

- ・ 新 SciMP/STP 委員として阿波根氏（北大）をお願いした．
- ・ 坂本氏，鈴木氏，山本氏（SciMP/STP 委員）を専門部会委員との兼務を解き、STP 委員に，新たに成瀬氏，林氏，岩井氏，布浦氏を委員に加える．
- ・ SciMP/STP 委員，専門部会委員ともに各分野を網羅しながら，委員をローテーションオフしていく必要がある．
- ・ SciMP/STP 委員の任期は3年となる．

### 2．次回 SciMP/STP への対応

- ・ 05-02-xx: IMRC
  - 意見を取りまとめる．
  - 実行者：鈴木・岩井
- ・ 05-02-xx: Core-Logging-Seismic Integration
  - レポート作成を継続する．
  - 国際ワークショップを開催する．
  - 国内メンバーに協力を依頼し，意見収集し，レポートに反映する．
  - 実行者：坂本

- 05-02-xx: サードパーティ
  - 継続して対応．
- 05-02-xx: チェックリスト
  - 継続して対応．
  - 実行者：岡田
- 05-02-xx: Core Description WG
  - SODV の Briefing Book をチェックし，ノンライザー船でのイメージングに対して意見を収集し，レポート提出する．
  - 国内×切：次回計測部会
- 05-02-xx: 孔内計測
  - 部会アクションアイテムを継続する．
  - CDEX，孔内計測WG，非破壊計測WGにて検討し，意見集約する．
  - 阿波根氏が Petrophysics WG に入り，国際対応を行う．
- 05-02-xx: 微生物
  - 各定量法のメリット・デメリットを整理する．
  - Exp 間，プラットフォーム間でのキャリブレーションをどうするか検討する．
  - 専属テクニシャンを要望する．
  - 難波・布浦・化学系委員で意見交換し，集約する．
- 05-02-xx: MBARI
  - 3月7日までに検討する．
- 05-02-xx: SciMP04-06-16：移動ラボ
  - 継続審議中
  - 機器としてどんな物があればよいかレポートが出されるだろうから，その後対応する．
  - 対応：山本，難波，石橋，布浦，阿波根
- 05-02-xx: QA/QC
  - IO（CDEX）と協調して検討していく．
  - 全分野対応していく．
  - 記載の QA/QC のガイドラインは必要
  - スタッフサイエンティストが記載用語・定義などのトレーニングを受けている必要がある．



- ちきゅうでの QA/QC を想定して CDEX に提言する .
- CDEX が現在検討している QA/QC 戦略を問い合わせる .
- ・ 05-02-xx: レーザーアブレーション
  - 国内対応は CDEX

#### コア解析スクールについて

- ・ 3月16～18日に高知大学海洋コア総合研究センターで開催されるコア解析スクールの概要について説明がなされた。(池原)

#### 次回部会開催予定

各アクションアイテムへの対応は次回計測部会を期限とする .  
次回計測部会は6月1日(水)を予定 .

・